

「あらかわの心」ニュース



第5号 平成19年10月20日発行

【発行】「あらかわの心」推進運動区民委員会
 【事務局】〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
 【メールアドレス】 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 【ホームページアドレス】 http://www2.bbweb-arena.com/arakawa/



カルタというのは日本古来の文化の代表的なものの一つだと思います。

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、家庭や学校でカルタ遊びをしながら「あらかわの心」推進運動に親しんでもらおうと、「あらかわの心」の主旨を表現したカルタを作成することになりました。そこで、7月から9月にかけて「あらかわの心」を表現したカルタの文言を募集したところ、519作品の応募がありました。

「カルタ」というかたちで次代に残すもので、多くのおみなさんに関心を持っていただいたことはとても嬉しいことです。なお、現在、応募作品のなかから優秀な作品を選考しています。

カルタの絵柄については、統一的なデザインにするため、プロの方などをお願いをして、それぞれの文言にあう絵を描いてもらいます。製品として通用するような「あらかわの心」カルタを作成したいと考えています。

なお、完成品のカルタは、家庭や学校などに配付し、活用してもらう予定です。

「あらかわの心」カルタ作成中

川の手荒川まつりでPR活動



4月29日（祝）、東尾久運動場と尾久の原公園で、第21回川の手荒川まつりが行われました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会は、ステージで「あらかわの心」のPR寸劇を行いました。

今回の寸劇は「おばあちゃんのおせっかい編」。道行く人たちにおせっかいは焼くおばあちゃんと地域の人々とのやりとりから、他人に関心を持つことの大切さを訴える内容で、観客の皆さんに楽しみながら「あらかわの心」推進運動の主旨を理解してもらうことができました。

また、「あらかわの心」のブースでは、幹事の皆さんが「あらかわの心」推進運動アンケートを実施しました。アンケートには、大人から231人、子どもからは287人分の回答をいただきました。

大人のアンケートで、この運動を「知っている」と回答した人の割合が半数以上だったことは、とても嬉しいことです（右下図参照）。



● 寸劇を公演します ●

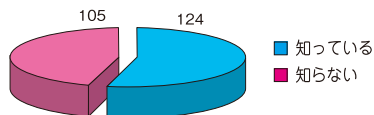
「あらかわの心」推進運動のPR寸劇を実施しています。団体の会合やイベントでお時間をいただき（約15分）、ご要望に応じて実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先 「あらかわの心」事務局（児童青少年課）

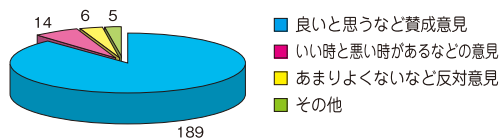
「あらかわの心」アンケート結果

（大人の回答分 231人）

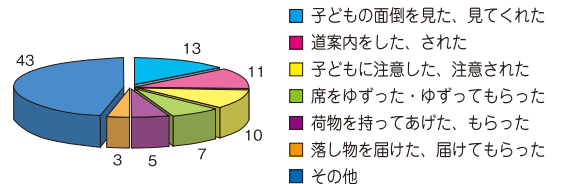
1 あなたは、「あらかわの心」推進運動を知っていますか（229人回答）



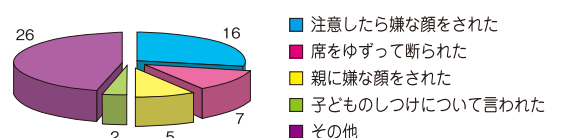
2 荒川区は、「おせっかいおじさん、おばさん運動」を展開しています。「おせっかい」についてどう思いますか（214人回答）



3 おせっかいをして(されて)よかったこと、喜ばれたこと、感謝されたこと等（92人回答）



4 おせっかいをして(されて)嫌だったこと、嫌われたこと、怒られたこと等（56人回答）



とちのき通り北吉番館 あいさつ通り

5月上旬、とちのき通り北吉番館自治会では、同じマンション内で会っても住民同士であいさつをしないことがあることから、あいさつを交わすきっかけになればと「とちのき通り北吉番館 あいさつ通り」の看板をマンション周辺の道路や敷地内の8ヶ所に設置しました。住民の皆さんは、以前よりあいさつをするようになったの



▲立派で目立つ看板です

ではないかと話していました。(とちのき通り北吉番館自治会)

朝の一声運動

区立第七中学校PTAでは、七中生の健全な成長を願って、朝の一声運動(年間25回)と夜間パトロール(2の日、年間19回)を実施しています。

今年度は定期考査も終わった7月5日から一声運動を始めました。生徒の皆さんと先生方は毎朝校門であいさつ運動をしています。私たちの一声運動は年間25回と回数に限られています。が、気持ちよくあいさつができる七中生を保護者全員で見守り、応援していきたいと思ひます。今年はいあいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り」の幟(のぼり)と襟(たすき)をお借りしてのスタートとなりました。少し照れくさいという感じもありますが、これからも一声運動を続けていきたいと思ひます。(区立第七中学校)



鉄人レースイン汐入

7月1日、区立汐入小学校と都立汐入公園を舞台に、子どもたちのトライアスロン「鉄人レースイン汐入」が開催されました。7回目の今年は約200名の小学生が参加し、水泳とマラソンの厳しい競技に挑戦しました。上位に入賞した子どもたちは、区民大会の水泳競技会や荒川リバーサイドマラソンで記録を出すなど、他のスポーツでも活躍しています。(鉄人レースイン汐入実行委員会)



▲厳しい競技に多くの小学生が参加しました

国蝶オムラサキの 観察会

6月16日から7月29日までの土日・祝日、荒川自然公園内の国蝶オムラサキのケージで、観察会が開催されました。これは、NPO「オムラサキを荒川の上空に飛ばす会」が、地道な飼育活動の結果羽化(蝶に成長)したオムラサキを公開しているものです。同会の岡本会長は「オムラサキの観察を通して、



▲子どもたちに命の大切さを説明しています

子どもたちに生命の大切さを教えた」と話しています。(NPO オムラサキを荒川の上空に飛ばす会)



▲間近で見るオムラサキに歓声があがりました

「みんなで楽しくキンボール大会」 「みんな集まれ! 楽楽ニユースポーツ」

8月19日、荒川総合スポーツセンターにて、「みんな楽しくキンボール大会」が開催されました。エントリー40チーム総勢200名が参加し、午前中は初心者体験と練習を兼ねたプレーを楽しみ、午後は5クラス(ジュニア・ファミリー・一般・初心者・上級者)に分かれた対戦を行いました。

また、9月17日には「みんな集まれ! 楽楽ニユースポーツ」が行われ、ミニテニス・キンボール・ビーチボール・カローリング・輪投げの5種目を、小学生から80代まで138名の方々が楽しみました。今回は千葉県勝浦市から国際武道大学キンボール部の学生さんをゲストに招き、上級者の試合を観戦しました。参加した小・中学生の中から名プレーヤーが生まれることを願っています。(荒川区体育指導委員会)



▲「オムニキン!」の掛け声で会場は熱気に包まれていました

コラム 広がる「あらかわの心」

先日、ある大学生のグループから取材の申し込みがありました。地域の取り組みをテーマに研究しているとのこと、 「あらかわの心」推進運動について熱心な質問を受けました。また、FM江戸川からインタビューの依頼があり、山崎幹事がFM放送に出演して、活動の内容やエピソードなどをトーク形式でお話ししました。さらに、昨年度から展開している重点事業「おせっかいおじさん・おばさん運動」が、平成19年度心の東京革命推進モデルに指定されることに決まりました。

今年で6年目を迎える「あらかわの心」推進運動は、さまざまなメディアで紹介され、ますます広がっています。